

大切なうつわを長く使い続けるための知識と方法を身につけましょう！



うつわにヒビのようなものが！



それは「貫入<sup>かんにゅう</sup>」じゃ。土と釉薬の膨張収縮の差を利用した装飾技法じゃ。使用前に水にくぐらせれば、油汚れなどの染み込みを予防できるぞ。



うつわにスプーンの跡が！



それは「メタルマーク」じゃ。金属が削れてうつわの表面に付着したもののじゃ。市販のメタルマーク除去剤や、酸に浸して溶かせば落ちるぞ。



うつわが欠けちゃったよ～！



「金継ぎ<sup>きんつぎ</sup>」というてな、日本古来より伝わる伝統的な復元方法があるぞ。欠けた部分に漆を塗り、金粉をまいて補修するのじゃ。ハイカラじゃろう。



あれ？ ひとつだけ色が違う！



同じ釉薬でも、焼き方や炎の作用によって複雑で微妙な色の違いが出ることもあるのじゃ。やきものの個性であり、楽しみ方のひとつじゃ。



博士のワンポイントアドバイス！！

うつわを長く使うコツ それは『うつわを愛<sup>め</sup>でる気持ち』

「うつわを愛でる」とは、風合いの変化を楽しみながら、うつわを育てるように扱うことじゃ。手をかけてやるほど愛着がわいてきて、長く使うことができるはずじゃよ。